

# 保健医療施設のための COVID-19 リスクコミュニケーション・ パッケージ



このパッケージは、保健医療施設において、施設の管理者やスタッフが安全と健康を守るための行動についてまとめたものです。

2020年3月10日更新

このツールは、簡単に編集や印刷ができ、自由に使ってもらえるようにデザインされています。  
レイアウトは、様々なISO規格のサイズ（A4,A3,A2）に適しています。

イラストと本文は、レイアウトを調整しやすいように別々になっています。  
印刷時には、ファイルをPDFまたはPNGで出力して、プリンターに送ってください。

枠なし印刷をしたい場合は、ページのイメージを印刷可能範囲に広げて、枠に沿ってはみ出した部分を切り取るとよいでしょう。

# 保健医療施設のための リスクコミュニケーション・ パッケージ



## はじめに

2020年1月30日、WHOは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のアウトブレイクに対して、国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態を宣言しました。COVID-19対応には、医療従事者や保健医療施設の管理者が安全かつ効率的に業務を行うための情報提供、手順やツールの導入を含む、必須の備えと対応が必要になります。

保健医療従事者は、COVID-19対応に極めて重要な役割を果たし、また、国が感染拡大を抑制し、封じ込める防波堤の根幹を担います。COVID-19が疑われる人々や感染が確認された人々に、しばしば厳しい環境の中、最前線で必要なケアを提供しているのも保健医療従事者です。保健医療従事者は、私たちの社会を守るために、COVID-19のリスクにさらされています。また、心理的苦痛、疲労、職業的燃え尽き症候群や差別と偏見など、困難な状況に直面する可能性もあります。WHOは、保健医療従事者が果たしている重要な役割を認識し、医療従事者を守る責任があると考えています。

## 目的

このパッケージの目的は、保健医療従事者を感染から守り、COVID-19の院内感染を防ぐことです。このパッケージには、医療施設におけるCOVID-19の感染予防と制御に関するWHOのガイダンスに基づいたわかりやすい一連のメッセージと注意事項が含まれています。詳細に関しては、[WHOのテクニカルガイダンス「COVID-19が疑われた場合の医療ケアにおける感染予防と制御」](#)（2020年3月19日発行）をご参照ください。

## 対象とする読者

このパッケージは、保健医療従事者および保健医療施設の管理者に向けて書かれています。保健医療従事者間のネットワークを通じて共有したり、直接医療機関に送って使ってもらうことができます。例えば、厚生労働省などの国の機関が、国内にあるすべての国立病院や保健所／保健センターに送ることもできます。必要に応じて、民間の医療従事者や医師会、看護協会、助産師会などの会員同士で紹介しあってもらうのもよいでしょう。また、施設内のスタッフに注意を喚起する目的で、自分たちの国の言葉に翻訳して、施設内に掲示することもできます。

非公式日本語訳

Unofficial Japanese translation prepared by WHO Kobe Centre

原文（英語）：

The COVID-19 Risk Communication Package for Healthcare Facilities

Updated 10 March 2020

<https://iris.wpro.who.int/bitstream/handle/10665.1/14482/COVID-19-022020.pdf>



## パッケージの内容

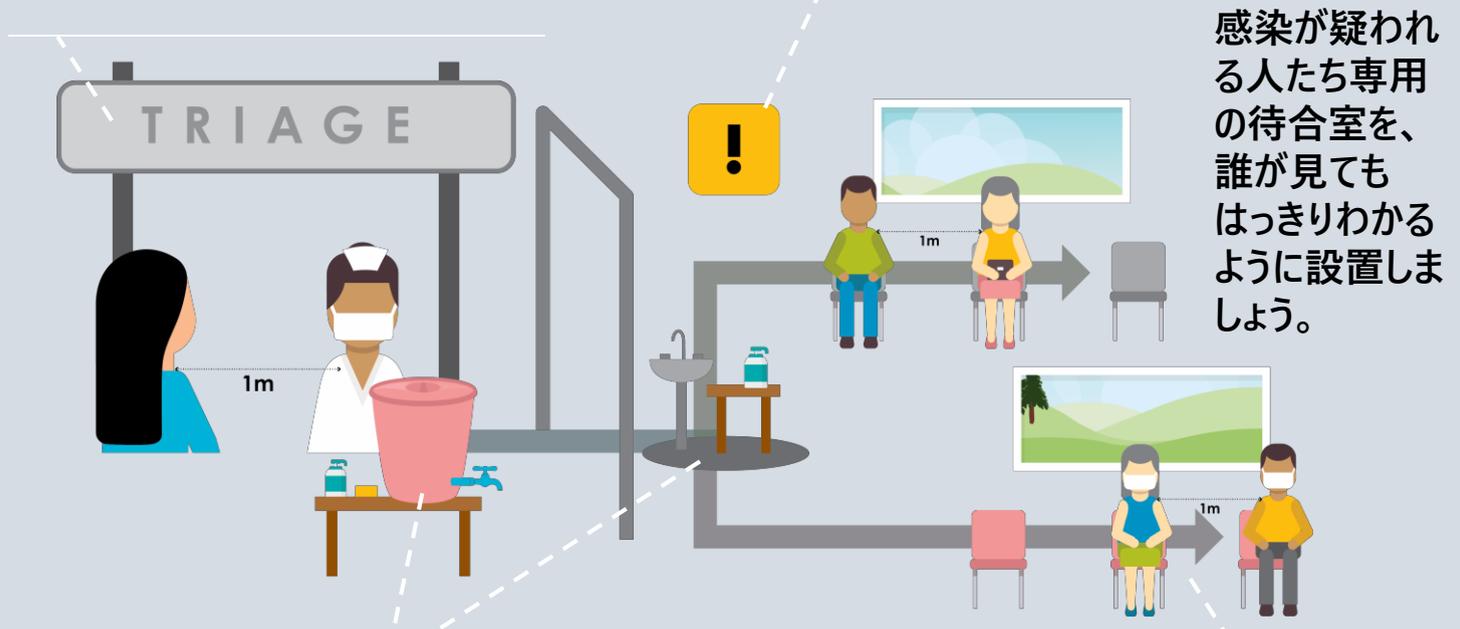
COVID-19 リスクコミュニケーション・パッケージには、下記の8点が含まれます:

No.	フォーマット	タイトル	主な対象	活用例
1	ポスター	あなたの施設でCOVID-19に備える	保健医療施設の管理者	職員研修や会議で共有する。全職員の目につく場所に掲示する。
2	ポスター	COVID-19が疑われる、または確定した患者への対応	保健医療施設の管理者	職員研修や会議で共有する。全職員の目につく場所に掲示する。
3	ポスター	COVID-19の職業感染を防ぐためにできること	保健医療従事者	職員研修や会議で共有する。全職員の目につく場所に掲示する（例えば、感染症隔離病棟の出入り口など）。
4	ポスター	保健医療行為に際した個人防護具 (PPE)	保健医療従事者	職員研修や会議で共有する。全職員の目につく場所に掲示する（例えば、感染症隔離病棟の出入り口など）。
5	チラシ	COVID-19が疑われる、または確定した患者とのコミュニケーション	保健医療従事者	職員研修や会議で共有する。トリアージステーションや受付などに置く。
6	チラシ	COVID-19に関する情報シート	保健医療施設の患者および訪問	いつでも渡せるように、トリアージ・ステーションや受付に印刷して置いておく。
7	ポスター	ストレスに対処するために	保健医療施設の全スタッフ	職員研修や会議で共有する。全職員の目につく場所に掲示する（例えば、給湯室や休憩室など）。
8	ポスター	手指衛生が必要な5つの場面	保健医療施設の全スタッフ	職員研修や会議で共有する。全職員の目につく場所に掲示する（例えば、感染症隔離病棟の出入り口など）。



トリアージ・ステーションを施設の入口に設置し、待合エリアに入る前にCOVID-19のスクリーニングができるようにしましょう。感染が施設内に広がるリスクを下げることができます。

ポスターやチラシなどを待合室に貼って、患者や施設に来た人たちが、咳エチケットや手洗いを正しく実施できるような情報提供をしましょう。



擦式アルコール手指消毒薬や、石鹸と水のある手洗い場を用意して、スタッフや患者、来院・来所した人たちが、いつでも使えるようにしておきましょう。

症状のある可能性がある人たちに注意しましょう（咳や発熱、息切れ、息苦しさなど）。

## 職員を守りましょう

ケアやトリアージに携わる職員に以下を確認し、備えましょう！

- 個人防護具の重要性を理解し、正しい防護具を適切に使えるようにトレーニングを受けている
- COVID-19の症状に気づき、感染が疑われる人たちにマスクを渡すことができるようにトレーニングされている
- 症例定義を理解し、判断するためのフローチャートをいつでも参照できるよう、トリアージ・ステーションに準備してある
- 感染が疑われる人がいたら、素早く隔離する
- こまめに手洗いや手指消毒をする



# 新型コロナ ウイルス感染症 COVID-19

## 保健医療施設の管理者用

### COVID-19が疑われる、 または確定した患者への対応

トリアージ・ステーションで患者をスクリーニングする際には、適切な个人防护具を着用する必要があります。患者がインフルエンザのような症状を示している場合や、新型コロナウイルス感染症の可能性があると考えられる場合には、必ず医療用のサージカルマスクを渡します。すべての患者が咳エチケットと手指衛生を守れるように、注意を喚起してください。

#### 配置管理



- 感染疑いまたは確定患者は直ちに隔離をしましょう。
- 患者のストレスや不安を軽減するため、行う処置やその理由について説明しましょう。
- 可能であれば、患者を個室に入院させましょう。
- 感染疑いの患者と確定患者は接触しないよう離しましょう。
- 全ての患者の間隔を1メートル以上保ちましょう。
- 1つのベッドに複数の患者を寝かせないようにしましょう。

#### 環境管理



- 施設内の患者の移動を制限して、施設内に感染が広がるリスクを減らしましょう。
- 患者を移動させる必要がある場合は、移動を事前に計画してください。患者と直接接するスタッフおよび面会者は、必ず个人防护具を着用する必要があります。
- 定期的に施設内の掃除と消毒を行いましょう。
- こまめに換気しましょう。可能であればドアと窓を開けてください。

#### 面会者管理



- 患者1人あたりの面会者数を制限しましょう。
- 面会者は必ず个人防护具を着用する必要があります。また、全ての面会を記録しましょう。



# 新型コロナ ウイルス感染症 COVID-19

## 保健医療従事者用

### COVID-19の職業感染を防ぐためにできること



新型コロナウイルス感染症への対応については、各施設で定めたガイダンスに従うとともに、安全な手順について同僚と確認しましょう。



COVID-19感染疑いまたは確定患者がいる部屋に入るときは以下のものを身につけましょう:

- 使い捨ての手袋
- 清潔な長袖のガウン
- 口と鼻を覆う医療用マスク
- ゴーグルなど目の保護具



#### 注意

個人防護具は、使用ごと、また患者ごとに交換する必要があります。使い捨ての個人防護具（使い捨てのマスク、手袋、フェイスシールドなど）を使用している場合は、蓋付きのゴミ箱に捨ててから、手をよく洗ってください。使い捨てのものは再利用することも、滅菌することもできません！



エアロゾルが発生する挿管などの処置を実施する場合には、N95などの微粒子用マスクを使用してください。その際には、**空気漏れがないか必ず確認**してください！



靴やカバーオール型の防護服は**不要**です。

#### 注意

適切に手指消毒を行うまでは、手袋や素手で目、鼻、口に触れないでください。



ケアを行った後に、咳やくしゃみ、発熱などの症状がみられるようになったら、直ちに関係部局に報告の上、その指示に従ってください。

#### 手指衛生が必要な5つの場面

擦式アルコール手指消毒薬を使用するか、石鹸と水を使って手洗いをしましょう:

1. 患者に触れる前
2. 清潔・無菌操作を行う前
3. 体液に触れる可能性がある処置の後
4. 患者に触れた後
5. 患者周囲のものに触れた後



# 新型コロナ ウイルス感染症 COVID-19

保健医療従事者用

## 保健医療行為に際した個人防護具(PPE)

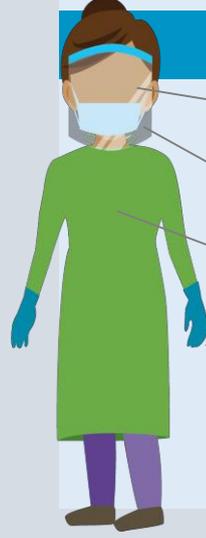
注意：手指衛生は常に重要です。個人防護具の着脱前後は、手を清潔にしてください。

### トリアージ、 相談・検査窓口



医療用マスク

### 呼吸器検体の採取



ゴーグル・フェイスシールド

医療用マスク

ガウン

手袋

### COVID-19感染疑いまたは

### 確定患者のケア：

### エアロゾルが発生し得る処置がない場合



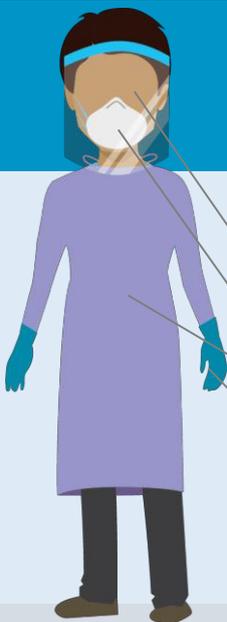
ゴーグル・フェイスシールド

医療用マスク

ガウン

手袋

### COVID-19感染疑いまたは 確定患者のケア：エアロゾルが 発生し得る処置がある場合



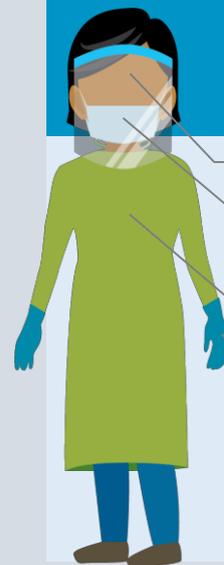
ゴーグル・フェイスシールド

呼吸用防護具  
(N95 or FFP2)

ガウン

手袋

### COVID-19感染疑い または確定患者の輸送や 直接のケア



ゴーグル・フェイスシールド

医療用マスク

ガウン

手袋



WHOWPRO



WHOWPRO



WHOWPRO



World Health  
Organization  
Western Pacific Region

## COVID-19が疑われる、 または確定した患者とのコミュニケーション

- 敬意をもって丁寧に、共感を示す態度で接しましょう。
- 感染疑いまたは確定患者、その付添人はストレスを感じていることに留意しましょう。
- あなたができる一番大切なことは、疑問や不安に注意深く耳を傾けることです。
- 地元の言葉を使い、ゆっくり話しましょう。
- COVID-19に関する疑問に答え、正しい情報を提供しましょう。
- すべての質問には答えられないかもしれません。COVID-19についてはまだ多くのことが不明であることを認めても構いません。
- パンフレットや配布資料がある場合は、患者に渡しましょう。
- 個人防護具を着用している時は、感染疑いまたは確定患者に触れたり、患者が安らぐようなケアを行ったりしても問題ありません。
- 患者から正確な情報を収集しましょう（名前、生年月日、旅行歴、症状など）
- 隔離や面会の制限など、COVID-19に関する施設の決まりや先の見通しについて説明しましょう。
- 子どもの患者の場合は、家族または保護者が同伴することを許可しましょう。適切な個人防護具を提供し、保護者が使用できるようにしましょう。
- 家族や面会者に、可能であれば最新情報を提供しましょう。



## 5つの知るべきこと

### COVID-19とは何ですか？

新型コロナウイルスによって引き起こされる病気です。COVID-19は、これまで人間の間では確認されていませんでした。新型コロナウイルスは、動物と人間の両方で見られるコロナウイルスの一種です。



### COVID-19の症状は何ですか？

多くの場合、新型コロナウイルス感染症は、鼻水、喉の痛み、咳、発熱などの軽度の症状を引き起こします。一部の人は重症化し、肺炎や呼吸困難を引き起こす可能性があります。場合によっては、感染によって死に至ることもあります。



### COVID-19はどのように広がりますか？

COVID-19は、主に、感染した人との濃厚接触で広がると考えられています。新型コロナウイルスに感染している人が咳やくしゃみをする時、しぶき（飛沫）が飛び散ります。その近くにいると、しぶきと一緒にウイルスを吸い込むことがあります。



### 感染リスクが高いのは誰ですか？

COVID-19の影響については、まだわからないことがあります。高齢者に加えて、糖尿病や心疾患など他の疾患を持つ人たちは、重症化するリスクがあると考えられています。



### 新型コロナウイルス感染症の治療法は何ですか？

現時点で、新型コロナウイルス感染症に有効な治療法やワクチンはありません。ただし、症状の多くについては治療することができます。



## 5つのすべきこと

こまめに手を洗ってください。

石鹸と水で手を洗うか、または汚れが目立たない場合には、アルコール手指消毒薬を使いましょう。手に付いたウイルスを取り除くことができます。



咳やくしゃみをするときは、肘をまげて口や鼻を覆うか、ティッシュを使って口と鼻を覆いましょう。

使用済みのティッシュはすぐに捨てて、石鹸と水で手を洗うか、アルコール手指消毒薬を使ってください。それによって、咳やくしゃみと一緒に放出されたウイルスで他の人が感染することを防ぎます。



可能であれば、咳やくしゃみをしている人や熱がある人との間に、1メートル以上の距離を保ちましょう。

COVID-19は主に感染した人との濃厚接触で広がると考えられています。



目や鼻、口を触らないようにしましょう。

手は様々なものに触れていますので、ウイルスがついているものに触っている可能性もあります。汚れた手で目、鼻、口に触れると、触ったものについていたウイルスから感染するかもしれません。



熱、咳、呼吸苦の3症状があるときは、受診してください。受診前に電話で連絡し、いつ受診するかを伝えてください。



必ず、受診する医療機関や国の専門家委員会のアドバイスに従ってください。





このような状況では、悲しくなったり、  
ストレスを感じたり、余裕がなくなったり  
するのは当然のことです。



信頼できる人やカウンセラーに  
相談しましょう。



健康なライフスタイルを維持しましょう。  
適切な食事と睡眠、運動、友人や家族との  
関わりを心がけましょう。

気分を紛らわせるためにアルコールや  
たばこ、薬物などを使用しないでください。



心配なことがある場合は、上司に相談  
しましょう。体調が悪くなった場合は、  
直ちに医師に相談してください。





# 手指衛生が必要な 5つの場面

擦式アルコール手指消毒液を使用するか、  
石鹸と水で手洗いをしましょう:

2 清潔・無菌操作を  
行う前

1 患者に触れる前

3

4

5

体液に触れる可能性  
がある手技の後

患者に触れた後

患者周囲のもの  
に触れた後



WHOWPRO



WHOWPRO



WHOWPRO



World Health  
Organization

Western Pacific Region